

12

2025  
December

No114



議会だより

# おおやまざき



御茶屋池(大山崎町字円明寺)

特集

## 令和6年度各会計決算を認定



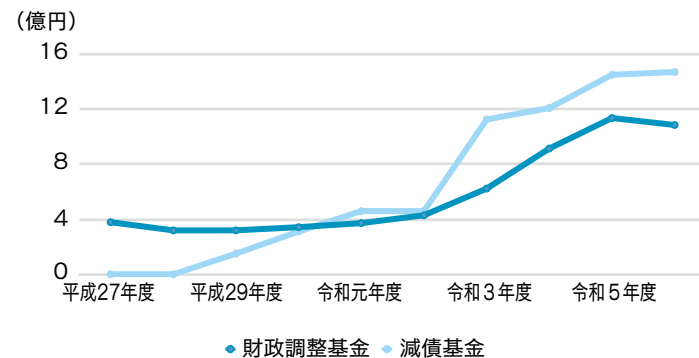
「まちづくり」の評価はいかに？

# 令和6年度 各会計決算を認定

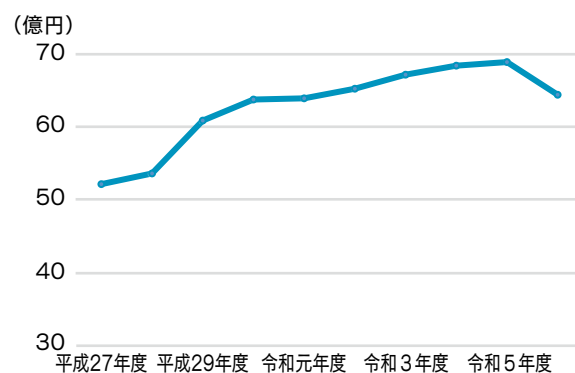
## 一般会計

一般会計では、実質単年度収支が約8,378万円の赤字となりました。これは収入不足を貯金(基金)を取り崩して補う状況を示しています。主な要因は町内大手企業の減収による法人税収の減少で、法人依存型の財政運営の脆さが明らかになりました。行政も「税収のピークは過ぎた」と説明しており、今後の増収は見込みにくい状況です。議会は将来の財政健全性を強く懸念し、引き続き監視を続けます。

財政調整基金と減債基金の推移（預貯金残高）



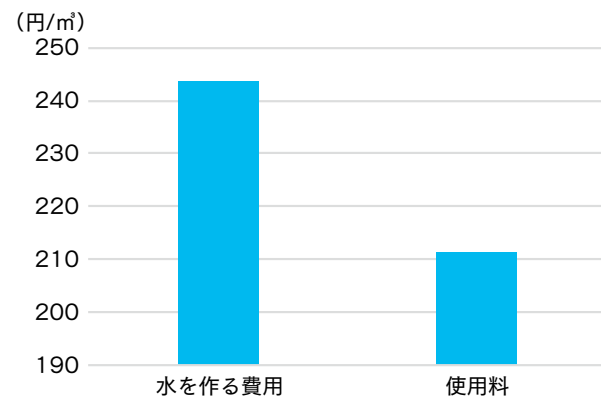
町債残高（借入金残高）



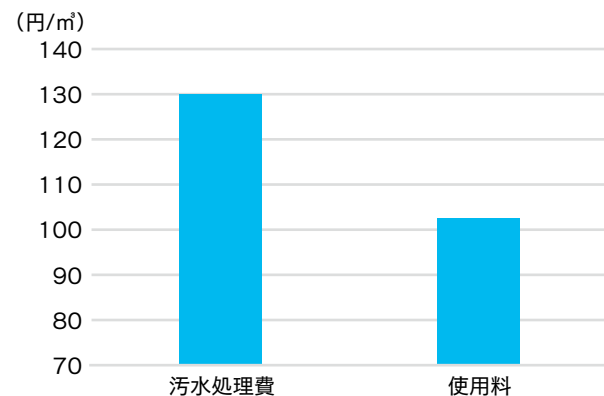
## 公営企業会計

公営企業会計(水道・下水道)はいずれも黒字決算でしたが、水を作る費用や污水处理費が使用料を上回るなど、構造的な課題を抱えています。行政は「第三者機関で審議中」と説明するにとどまり、明確な経営方針は示されませんでした。今後も議会は経営健全化に向けて厳しくチェックしていきます。

水を作る費用と使用料の比較



污水处理費と使用料の比較



決算の詳細は、広報おおやまざき 令和7年11月号をご覧ください。



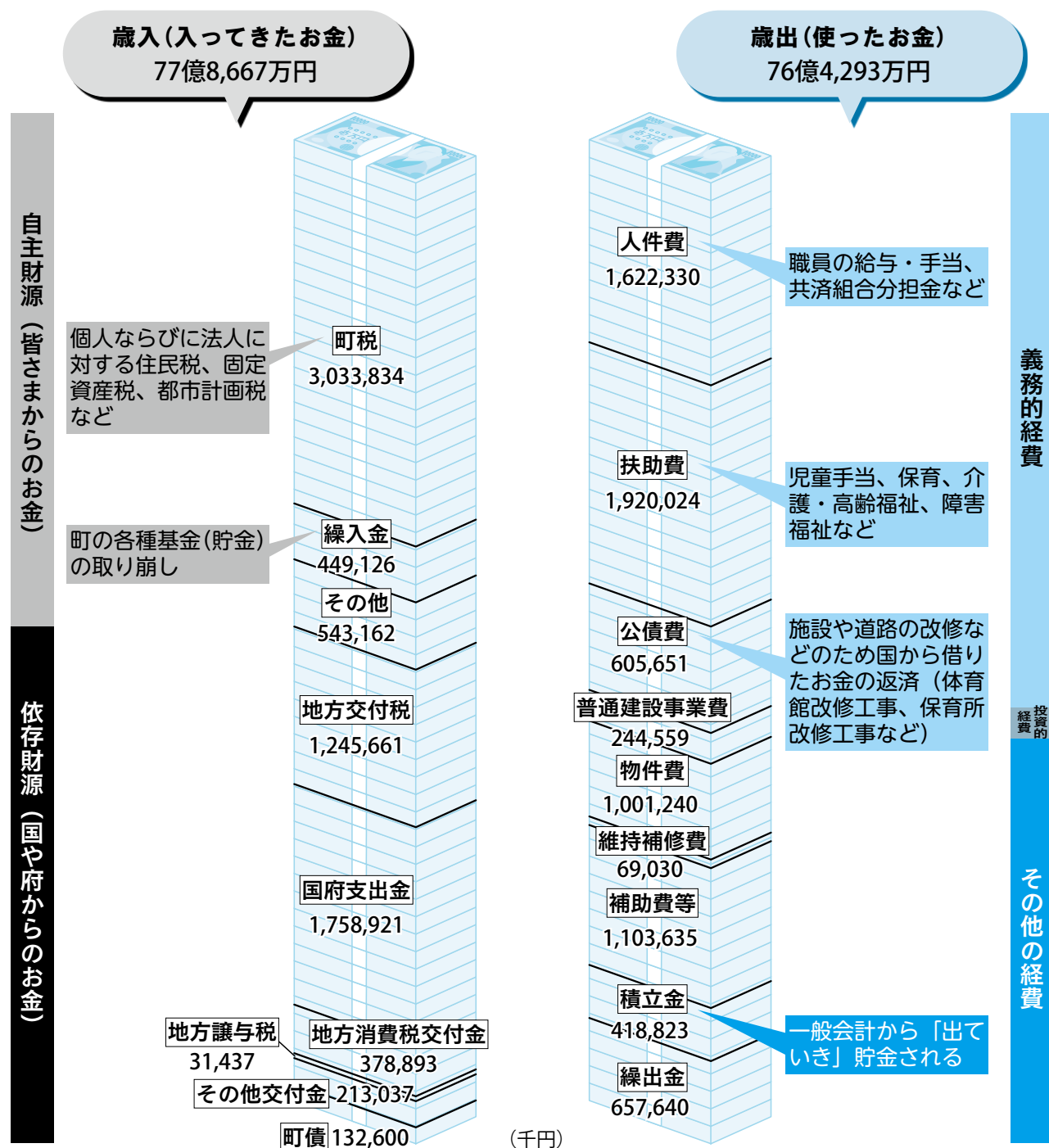
## ～将来に不安も～

決算は、一会計年度の歳入歳出の執行結果を示すもので、監査委員の意見を付して議会の認定を受けます。議会による決算審査は、単なる数字の確認にとどまらず、予算執行の評価や改善、行政への監視を通じて、住民への説明責任を果たす重要な機会です。

令和7年9月議会では、一般会計をはじめ各特別会計・公営企業会計の決算認定について、4日間・計21時間にわたり慎重に審査を行いました。結果として全会計を認定しましたが、将来の財政運営に不安を示す意見が多く出されました。

本特集では一般会計と公営企業会計(水道事業ならびに下水道事業)についてお知らせします。

## 町のお金の出入り内訳(一般会計)





特集 令和6年度各会計決算を認定

私の意見

\*議員が各自の責任により執筆しています。  
(議長は表決に加わっていないため、掲載していません。)



島 一嘉

令和6年度に新設された「防犯カメラ」は2台。一台75万円オンラインで役場で見れる高機能。私は以前に提案した「機能を下げて機器の価格を下げて、設置台数を増やす方法」を再確認。職員の手間を考えた結果と回答。



西田 光宏

一般会計 中学校給食費徴収業務は公会計である一方、小学校は私会計で運営されている現状を指摘。職員の事務負担軽減と会計の透明性確保の観点から、小学校も早急に公会計へ移行すべきと提案した。



徳本 修司

町内大手企業の不振により、法人税収入が大幅な減。実質単年度収支が8千万円の赤字。本町の体力が弱い事が判った。今後は法令的支出が増加するなか、家庭で言えばいかに収入を増やし、支出を抑えるかがポイントだ。



北村 吉史

一般会計令和6年度決算では、自治体デジタルトランスフォーメーションの進捗が全く見られない。遅れば遅れるほど職員の負担は増え、住民サービスに影響が出る。早急な対策と見直しが必要と考える。



小畑 孝信

一般会計決算は1年間で実質的に収入と支出の差が▲8,378万円の赤字となった。  
財政再建を真剣に考える時期である。  
もっと民間力を活用し、知恵・アイデアを駆使して支出を減らす工夫をすべきだ。



山中 一成

令和6年度一般会計決算は形式上黒字でしたが、単年度収支は赤字に転落し財政健全化の課題が浮き彫りとなりました。加えて職員体制の脆弱さも顕在化しており、安定的な行政運営に向けた抜本的改善が必要です。



辻 真理子

一般会計の子育て関連では、18歳まで入院、通院の医療費助成や、民設放課後児童クラブへの運営補助、通年のマイプレイス事業で児童の居場所が増えた。保育所の保育料について兄弟同一入所でなくても軽減策が必要。



井上 治夫

財政は実質収支が黒字となっており、監査委員の指摘通り健全な財政状況を維持しています。大手企業の業績不振で法人税が減少しましたが、令和7年度の地方交付税が増えています。町債の残高も減っています。



堀内 古比呂

前年度比で法人町民税等の落ち込みはあるが、この間の「子育て応援施策」により、若い世帯が定住している。結果として、個人町民税が増えており、高齢者にとっても暮らしやすい施策が期待できる好循環の決算である。



波多野 庇砂

①ふるさと納税返納品工夫無しで税流出大問題。天王山ウィスキーの未開発を指摘②埋文3階ビル浸水地で否決。972万ロス③複合3500㎡14億円に大賛成したが3500㎡24億円の同じ内容に大反対。



朝子 直美

町内を横断していたバス路線の廃止に対応するため、いち早く「町営バス」運行を決断し、実証実験を開始した。町内移動の利便性向上は、長年の住民要望であり、今後、コースの改善や増便など、充実が求められる。

## ～第3回議会報告会(10月10日・11日)～

○開催状況：10月10日(金)19時～20時30分 @円明寺ヶ丘自治会館 参加者 8 名  
10月11日(土)10時～11時30分 @長寿苑大広間 参加者 6 名

議会からは、議長、副議長、各常任正副委員長など、分担して各会場とも7名が参加しました。  
今回は9月議会のメインであった令和6年度の決算について報告し、参加者の皆様からご質問  
やご意見をいただきました。その中の一部をご紹介します。

**Q** 予算提案時もふくめ、特に時間をかけて議論  
された事業は。

**A** 新しく建設予定の複合施設については特別委  
員会も立ち上げ議論してきた。今後も詳細設計  
や運営方法、長寿苑や保健センターの跡地活用など  
議論していきたい。また、町営バス実証実験につい  
ても、利用状況や住民アンケートの結果を踏まえ検  
討を重ねている。アンケートの声から新たにJA前の  
停留所が設置された。今後は有償での実証実験から  
本格運行に向けて議論を進めていく。



**Q** 議会への多様な方の参画について議  
論は進んでいるか。

**A** 若い世代の方が参画しやすくするた  
め、議員報酬の引き上げが必要と考え  
ている。そのため、町長に報酬審議会の設  
置を要望している。

**Q** 少子高齢化対策について。

**A** 人口増により町民税収は増えてい  
るが扶助費(支出)も増加傾向であ  
る。ふるさと納税の増収など財源の確  
保に努めていかなければならない。



**Q** 役場全体の雰囲気は他自治体と比べ  
て活気が無いように感じるが。

**A** 業務量が増えている一方で正規職員  
が増えておらず、技術職の確保も課題  
である。各議員が、人員体制の充実や、有  
給休暇を取りやすいなど魅力ある職場づくり  
について提案している。

前回行ったアンケートでいただいたご意見をもとに「町公式ラインでの開催案内」「机や議員の  
席札の設置」「議案の内容がわかる資料の作成」を行いました。今後も、皆様からのご意見を反映  
し、より参加しやすく、わかりやすい議会報告会をめざしてまいります。

8月25日から9月18日までの18日間にわたり、町長から提出された21件  
の議案を審議しました。

## 季刊議会

9月議会あらまし  
(令和7年第3回定例会)



議決結果は  
こちらから



会議録は  
こちらから



### 賛否が分かれた案件

- ①令和7年度一般会計補正予算(第3号)
- ②中央公民館本館・別館解体工事請負契約

①②ともに ☒ 賛成多数により原案可決

1 対 10



反  
対



賛  
成

- ③令和6年度一般会計歳入歳出決算認定
- ④令和6年度水道事業会計決算認定
- ⑤令和6年度下水道事業会計決算認定

③④⑤ともに ☒ 賛成多数により認定

1 対 10



反  
対



賛  
成

当町が個人より円明寺御茶屋池の寄付を受けたことに対する決議

○(提出した議員) 西田 光宏  
(賛成者となった議員) 北村吉史 山中一成 波多野底砂 小畑孝信 島 一嘉 徳本修司

○決議案は ☒ 賛成多数により原案のとおり可決

賛否の詳細は、裏表紙をご覧ください。



決議の内容



# 一般質問

ここが聞きたい！

## 11人が町政を問う。



井上 博明 議長

9月定例会では、9月1日、2日の2日間にわたり、11人の議員が町政に関して質問しました。

このページは、本会議の一般質問をもとに、議員が各自の責任により執筆しています。

※各議員のQRコードからYouTubeによる動画(録画)をご覧ください。(正式記録ではありません。)

正式記録は、次の方法をご覧ください。(次回定例会の開会日頃からご覧ください。)

○冊子で閲覧(閲覧場所：役場1階ロビー・役場3階情報公開窓口・役場4階議会図書室・中央公民館図書室・長寿苑)

○町ホームページから会議録検索システムで閲覧(こちらから→)



いのうえ ひろあき 議員

町：平成28年度決算以来の赤字となった

実質単年度収支が8千万円の赤字

他の質問：住民税、固定資産税等の課税誤りが多発した



実質単年度収支が8年ぶりの赤字

【問】令和6年度決算において実質単年度収支が8千万円強の赤字となった。今後の財政運営について問う。

【答】実質単年度収支とは、前年度からの繰越金など一時的な要素を除きその年度での歳入と歳出の差引を示す物で、財政運営の健全性を単年度ベースで判断する指標です。令和6年度決算では、平成28年度決算以来の赤字である。主には町税の減収と社会保障関係費が増加したことによる。法人町民税や固定資産税などが減収、町内大手企業の業績等に大きく左右される構造上の特性が顕著に現れた。社会保障関係費では、児童手当の制度改革で新たに高校生年代の児童が給付対象になり、所得制限の見直しも実施され扶助費が大きく増加した。義務的経費が増加傾向にあり、財政の硬直化が一層進むことを懸念している。

R171からの越水の隠蔽事実



はたの ひさご 議員



【問】①新複合施設の2階フロアの地上高を問う②桂川堤防18・4mからの越水想定答弁は、R171海抜17・4mからの越水を隠蔽事実③町域全堤防に対応する必要がある。土壌袋の用意は。④町内排水ポンプの能力について十分か。⑤中央公民館前のGL13・7mは、R171から浸水18・4m差。4・7mの浸水は40cmの新公民館の2階床面。避難者620人浸水に。

【答】①4・3m。②的外れ・言い訳・掲載不可能。③想定無い。単に応急のみ。早期避難促す。④(1)大山崎排水ポンプ場は整備終わる(2)下植野排水ポンプは多少の能力不足状況(3)桂川堤防・R171からのポンプ対策無し⑤答弁で浸水は3・1mと。根拠理由説明無し。



水オオカミはR171



保育所運営も扶助費です

【問】9月議会では住民の税金がどのように活用したのかを検証します。個人の住民税の推移から財政の今後の見通しを問う。

他の質問：令和8年度予算について

【問】税収は令和5年度まで増加、令和6年度は減少、当町では法人住民税や固定資産の不安定性がある。超高齢化・人口減少社会が到来する中、一般財源の確保が課題である。

【問】ここ10年で人口は1千人、個人の住民税は1億円増加。扶助費(子育て支援や高齢者支援)はどうか。

【答】10年で10億円増加。

【問】人口が増加し税収が増加しても、扶助費の増加が莫大であり、人口の増加が単純に安定的な財政運営につながる可言えないことは明確です。人を呼び込む事を言い切るのはいか

【問】その通りですが、それでも我々は町に人を呼び込む事で持続可能なまちづくりに推進してまいります。

税収の推移から財政の見通しは



しま かずよし 議員



町：一般財源の確保が重要な課題

他の質問：職員退職による影響



前川町長の不規則発言を注意する

【問】令和6年度決算は赤字とされる一方、単年度収支は赤字となった。今後の財政運営をどのように見直すのか。

【問】町長は「財政健全化に努める」と答弁したが、歳入不足の具体的な改善策や長期的な展望については、不規則発言により明確に示されなかった。

【問】職員の大量退職が続き、補充や育成が十分でなく、事務処理や住民サービスの低下が懸念される。改善策はあるか。

【問】町長は「人材確保と定着に努める」と答弁したが、育成に時間がかかる点への対応や、住民サービスへの影響緩和策は不十分であった。

決算・財政について



やまなか いっせい 議員



町：「実質単年度収支」では、赤字

交通安全対策と地域防災力の強化



にしだ てるひろ 議員



他の質問：学校施設の長寿命化と教育現場の問題点



交通安全対策の青パト(防犯協会)

【問】主に子どもや高齢者の安全確保を中心とした交通安全対策として、通学路の危険箇所改善・高齢者・一般歩行者に配慮した道路整備を要請。警察や地域住民との連携強化と共に地域防災力の向上や、災害時要配慮者の個別避難計画の進捗や支援体制。また防災行政無線の改善、避難所・防災拠点の整備状況について町の具体的な方針を問う。

【問】歩道の確保や歩車分離を進めるが、新たな用地取得などに課題がある。交通安全対策の啓発看板の増設や街頭啓発活動をおこない、警察によるパトロールや横断歩道での取締りを強化したい。避難行動要支援者名簿を作成し関係機関へも提供を行い、高齢者や障がい者向けの個別避難計画の策定を進める考えである。防災行政無線の聞き取りにくさは認識しており改善に努めたい。





## 夏休み明けの不登校対策について



きたむら よしふみ 議員

町：生徒個人の健康アプリ導入を検討

他の質問：防災・減災対策について

- 夏休み明けの2学期は不登校が一番増加する時期である。夏休み中の課題のあり方について、特に保護者が手伝うようなことについて教育委員会として如何にお考えか。
- 生徒個人での入力による健康アプリの導入を検討して参りたい。課題は必用と考えています。
- 本町の夏休みの課題は、保護者が〇×をつけていると伺ったが、近隣自治体では〇×を自動的につけられている。保護者の負担軽減の為にまた児童が自主的に課題をするために1人1台端末を支給しているなら対応が可能ではないか。
- 家庭でのコミュニケーションも一定必用と考えられるが、調査・研究の上対応して参りたい。
- この時期は9月病の時期とも言われ、自死が増える時期でもある対策をお願いします。
- 対応して参ります。



学び舎



## 教育費負担軽減策の拡充を求める



あさくら なおみ 議員

町：慎重に検討、研究を進める必要がある

他の質問：孤立出産の防止、包括的性教育の推進

- 物価高騰による家計への影響を考慮し、就学援助の認定基準額の引き上げを求めるがいかがか。
- 本町の就学援助の認定基準額は、生活保護基準の1・3倍であり、他の市町と比較しても低くない。さらに、町民税非課税の方や児童扶養手当受給者などは、就学援助の対象としており、適正だと考えている。
- 就学援助の申請を行いやすくするため、LINE申請を取り入れることを求めるがいかがか。
- 申請状況が取り立てて低調なわけではない中、事務負担等も踏まえ慎重な検討が必要。
- 算数セットや裁縫道具など教材費購入にかかる保護者負担を軽減するため、教材の学校備品化を進めることを求める。
- 教材の学校備品化のメリットは認識しているが、管理についての負担等もあり慎重な検討が必要。



義務教育は無償に！（憲法26条）



## 指定ごみ袋利用が進まない原因は



ほりうち ひろ 議員

町：安価な袋の存在や半透明への抵抗感

他の質問：町公式LINEのさらなる活用について

- 指定ごみ袋導入の際「価格は市販のごみ袋と同程度になるようにする」としていたが、実態は指定ごみ袋の方が高い。対策について問う。
- 指定ごみ袋の導入時は、市販の同等品と比べ大きな価格差が生じないよう設計を行うとされていた。しかし市販のごみ袋は、品質が多様であり、指定ごみ袋より安価な商品が販売されている事は認識している。他に比べて指定ごみ袋の価格が大きく高騰するなど、住民負担増が懸念される場合、指定ごみ袋を共同で導入している長岡京市・向日市と連携し、適切な対応を検討する。
- 住民から「指定ごみ袋の完全実施は、ごみ有料化への布石では」と心配の声がある。見解を問う。
- 現在、可燃物ごみの有料化について、乙訓環境衛生組合や2市1町においても検討していない。



住民が使いやすい指定ごみ袋の設計を



## 本町のDXについて



とくもと しゅうじ 議員

町：本町におけるデジタル化は喫緊の課題

他の質問：避難所に於いてのトイレの準備は十分なのか



仕事に追われる職員  
DX遅れが進んだ場合の役場内

- 総務省からDXについての「人材育成・確保基本方針策定指針」が示されたが、本町職員のデジタル人材育成の取り組みは促進しているのか。
- デジタル技術を活用した業務の効率化や住民サービスの向上が求められ、専門的な知識やスキルを持つデジタル人材の確保と育成が必要であり、重要な課題の一つと認識している。
- 総務省が出された「組織体制の整備」には、CIOの役割が非常に重要であり、その役目は副町長である。と記載されており、町長は副町長（CIO）を担っている立場である。CIOは中長期的なIT戦略の策定、目的や方針を明確化すると謳われているが、理解されているか。
- 理解しているつもりである。職員にはDXを推進するように言っている。一足飛びにはいかない。それなりの準備が必要。



## 避難所でのトイレ確保の再検討は

町：早期に仮設トイレ提供の協定を検討する

他の質問：小、中学校体育館エアコン設置や稼働時期は



防災機能の強化とされる西法寺公園

- 避難所でのトイレの確保の再検討の進捗を問う。
- 本町の避難所におけるトイレ整備は（仮設、マンホール、簡易）トイレ含め必要数確保しているが、複合化施設を避難所とする予定の為、災害時に仮設トイレを提供してもらえ民間事業者と協定を締結を検討していく。
- 京都府は災害備蓄の必要量を1日分から3日分に見直し、重点備蓄品目も追加した。本町の今後の対応は品目も追加した。本町の今後の対応は品目も追加した。本町の今後の対応は品目も追加した。
- 見直しでは従来の避難所避難者に加え、在宅避難者や車中泊避難者も対象に含まれた。備蓄品目及び備蓄数について見直し、保管場所含め検討を進める。
- 分散避難の観点からも車中泊での避難者も想定される。車中泊避難場所の検討が必要と考えるが。
- 車での避難時の駐車場所については、再整備を予定している西法寺公園を検討する。



## こども家庭センターの設置予定は

町：他の自治体の実態を調査・研究する

他の質問：増えた基金を活用し、住民福祉をさらに前へ



自然豊かな子育てのまち  
大山崎町

- 不登校・虐待・発達に課題のある子どもが増えている。子ども・子育て支援施策をすすめる職員を増やすことを求める。
- 不登校は、全国的な傾向と同様、本町も年々増加傾向にあり、支援が必要な児童及び保護者への対応はきめ細かに行うことが必要です。
- 「自然豊かな子育てのまち」を推進するために、京都府内19自治体で設置されている、児童福祉充実の役割を果たす「こども家庭センター」の設置予定を問う。
- 母子保健機能を担う子育てコンシェルジュを設置し、妊娠から出産子育てまで切れ目なく支援をしています。小規模な組織に見合うセンターの形について、他の自治体の実態を調査・研究して参ります。
- 不登校など、困っている18歳までの子どもを支援するセンターの設置を要望します。

いのうえ はるお 議員



令和7年第3回定例会 表決の結果(賛否が分かれた案件)

※○は賛成 ×は反対 を表しています。※討論は、賛成もしくは反対の意見を述べた場合に記載しています。

議案 番号	議案名	議決 結果	議長	日本共産党議員団				大山崎クラブ		安心	大山崎が好き!! (大好き会)	公明党	のぞみ	れんごう 大山崎
				朝子 直美	辻 真理子	井上 治夫	堀内 古比呂	山中 一成	西田 光宏	島 一嘉	北村 吉史	小畑 孝信	波多野 広砂	徳本 修司
第57号 議案	令和7年度大山崎町一般会計補正 予算(第3号)	原案 可決	井上 博明  ※議長は、議員として表決に加わりません。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第62号 議案	令和6年度大山崎町一般会計歳入 歳出決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第69号 議案	令和6年度大山崎町水道事業会計 決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第70号 議案	令和6年度大山崎町下水道事業会 計決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第71号 議案	中央公民館本館・別館解体工事請 負契約について	原案 可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
決議案 第5号	当町が個人より円明寺御茶屋池の 寄付を受けたことに対する決議	原案 可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

●表決 議員が各自の賛成、反対の意思表示をすること。

●討論 会議(本会議)での表決の前に、議題となっている案件に対して、賛成か反対かの自分の意見を表明すること。  
なお、自分の意見を表明するだけでなく、意見の異なる議員を自分の意見に賛同させるようにする目的があります。

討論の内容は、会議録でご覧ください。(次回定例会の開会日頃からご覧いただけます。)

- 冊子で閲覧(閲覧場所:役場1階ロビー・役場3階情報公開窓口・役場4階議会図書室・中央公民館図書室・長寿苑)
- 町ホームページから会議録検索システムで閲覧(こちらから→)



\*YouTubeによる動画(録画)でもご覧いただけます。  
(正式記録ではありません。)

令和7年第4回定例会日程

12月  
議会日程



日程詳細

一請願・陳情の提出期限  
定例会開会日の2週間前  
上記の日程詳細からご確認ください。



提出の方法

開会 12/2(火)10:00

一般質問 12/9(火)・12/10(水)10:00

閉会 12/19(金)10:00

議会改革特別委員会 12/4(木)13:30  
複合施設特別委員会 12/11(木)10:00  
総務産業常任委員会 12/11(木)13:30  
建設上下水道文教厚生常任委員会 12/12(金)13:30  
予算決算常任委員会 12/15(月)10:00  
(議会運営委員会 12/18(木)13:30)  
広報常任委員会 12/18(木)議会運営委員会終了後

次回は3月1日にお届けします

〒618-8501 京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字夏目3番地

Tel 075-956-2101 Fax 075-953-6020

[発行]大山崎町議会

[編集]広報常任委員会

朝子直美委員長／西田光宏副委員長／堀内古比呂／小畑孝信／島一嘉／井上博明